

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	みよし市がんばる地域応援補助事業審査会		
開催日時	令和元年11月26日（火） 午前10時から正午まで		
開催場所	みよし市役所 3階 301会議室		
出席者	委員 加藤 武志（中京大学現代社会学部講師 まち楽房有限会社） 松波 廣昭（区長会代表 東山区長） 三島知斗世（NPO法人ボランタリーネイバーズ） 佐宗 正行（みよし市ボランティア連絡協議会） 山田 勉（政策推進部長） 野々山 清（市民協働部長） 事務局 山口協働推進課主任主査、松永協働推進課主事 (計8名) 傍聴者 0名		
次回開催予定日	—		
問合せ先	協働推進課 担当者名 松永 電話 0561-32-8025 ファクシミリ 0561-76-5702 メール kyodo@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	—
審議経過	<内容> 1 あいさつ 2 団体プレゼンテーション 3 審査 4 事業採択について		

会議録 開会	山口主任主査	本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。 只今から「令和元年度みよし市がんばる地域応援補助事業審査会」を始めます。よろしくお願いいたします。 最初に礼の交換を行います。 皆様、ご起立ください。 一同礼。 ご着席ください。 本日の会議は、「みよし市がんばる地域応援補助事業審査会運営要綱」に基づき開催させていただきます。また「みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱」第6条に基づき、会議のプレゼンテーション部分を公開とし、協議・採択の部分を非公開としておりますので、予めご了承ください。傍聴人数は0人となります。 最初に、加藤会長より、一言ごあいさつをいただきたいと思います。
あいさつ	加藤会長	おはようございます。今年で最初に採択した団体は三年目を迎えます。本日は新たに二団体応募があったとのことです。審査よろしくお願いいたします。
議題	山口主任主査	ありがとうございました。 それでは、本日の選考方法とスケジュールを事務局から説明させていただきます。
	松永主事	それでは、本日のスケジュールと選考方法の説明をさせていただきます。お手元の「プレゼンテーション・タイムスケジュール」をご覧ください。この後、10時10分から各団体のプレゼンテーションを行います。10分間のプレゼンテーションを行い、プレゼン終了後に委員の皆さんから団体への質問時間を10分間予定しています。 団体が退場後に、配布させていただきました「審査項目委員評価表」により各団体の事業について採点をしていただきたいと思います。 プレゼンテーションは、各団体入れ替わりの時間を含め、25分を予定しており、今回、申請をいただきました2団体のプレゼン終了時間は11時を予定しております。 その後、10分間の休憩を挟み、11時10分から協議等をお願いしたいと思います。 選考方法ですが、別のA4サイズの用紙で「がんばる地域応援補助金交付団体選考方法」の用紙をご覧ください。 審査項目は、地域課題の妥当性、公益性、主体性など7項目の基準を設けており、審査の着眼点に沿って、5点の「非常に優れている」から1点の「劣る」までの点数をつけていただき、これらの合計点数の高い団体から順番に順位を決定いたします。 「4審査方法」の（9）に記載しているとおり、評価が著しく低い、1点の評価のある場合は、委員のみなさまに協議していただく

プレゼンテーション		こととなりますのでよろしくお願いいたします。 プレゼンテーションの進行は、事務局で行わせていただきますので、よろしくお願いいたします。 それでは、団体の準備が整うまでしばらくお待ちください。
	山口主任主査	それではカリヨンベルズより提案事業のプレゼンテーションを行います。よろしくお願いいたします。 【カリヨンベルズ プレゼンテーション】 1名
	山口主任主査	ありがとうございました。先ほどのプレゼンに関しまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。
	加藤会長	女性の社会参画がこの地域は特に足りてないとお考えになる理由を説明してください。
	カリヨンベルズ	足りていないというよりも、より参加して欲しいと考えています。女性がもっと参加してくれれば地域がもっと良くなり、この地域が持続可能になっていくと考えます。
	加藤会長	その課題に対して、最適な解決方法がSDGsとARによるイベントであると判断された理由を教えてください。
	カリヨンベルズ	ARを活用することで家族ぐるみの参加が望めると思ったからです。家族でSDGsのワークショップに参加することにより、親子の対話の中で子供や父親、母親自身に気づきを与えることができると考えます。そのため、子供が楽しめるようなイベントにしました。
	加藤会長	SDGsのワークショップをすることによって、子育て世代のお母さん達の参加を望めると思いますか。
	カリヨンベルズ	参加して欲しいと思っています。これから必要な考えであるということを口コミでもチラシでも広めていきたいと思っています。
	加藤会長	それを補助金でやらなければならないと考える一番の理由は何ですか。
	カリヨンベルズ	講師料の高さです。できれば広く皆さんにワークショップを経験してほしいと考えています。しかし、県主催のものは遠方です。県のものであれば参加費用は抑えられると思いますが、一般向けのワークショップを開催しようとする、参加料が高額となってしまう、一般市民の参加が見込めません。
	加藤会長	受益者負担をしてでも、参加したいと思う方はいると考えますが、どう思われますか。

カリヨンベルズ	一回 500 円又は 1,000 円程度の費用を負担してもらおうと考えています。皆さんに意識をもって学びに来ていただきたいと思っています。
佐宗委員	SDG s は一般にはまだ広く認知されていないと思います。それに対して講師等と呼んでワークショップを行うわけですが、参加人数が心配ではないかと思っています。その点についてはどうお考えですか。
カリヨンベルズ	参加人数については、友達を誘いあわせてもらうなど、積極的に勧誘していきたいと考えています。ワークショップの上限が 40 人程度ですので、そのぐらいの人数は参加して欲しいと考えています。
三島委員	M 字カーブや女性の地域活動への参加が少ないことを課題として挙げていましたが、SDG s を勉強することによってその課題がどう変わり、どのように女性が地域活動へ参加するようになるのかをもう少し具体的に説明してください。
カリヨンベルズ	SDG s を学ぶことによって「自分も何かしないと地域が持続していかない」という危機感を持ってほしいと思っています。子供たちの将来のために、子供たちが安心安全に暮らしていくために、自分はこのことができる、こういうことをしていこう、という気持ちを持ってもらいたいと思っています。
三島委員	「こういうことをしていこう」というのは具体的にどういったものを想定していますか。
カリヨンベルズ	ワークショップに振り返りの機会を設け、地域に対して自分がどんな貢献ができるのか、アイデアを出してもらおうと思っています。こちらからも投げかけはしますが、その中で参加者自身に何が地域課題で、どうしたら解決できるのか気づいて欲しいと考えています。その中で新たに市民活動が生まれればそのバックアップをしていきたいです。
松波委員	女性に参加して欲しいとおっしゃっていましたが、なぜ若い世代が対象なのですか。高齢者の方々は皆さん元気であり、人生経験が豊富で知識もお持ちです。また、行政区に何度か関わったことのある方もいらっしゃいます。子育てで大変な思いをしている女性をターゲットにするのではなく、高齢者の女性を対象としても良いのではないですか。
カリヨンベルズ	若い女性は、よりこの問題が自分自身に関係のあるものだと認識しやすいと考えます。自分の子供たちの将来をよくするため必要であると感じてくれれば、すぐに即戦力になると思います。
松波委員	あまり認知の進んでいない SDG s のワークショップを進めるよりも忙しい若い女性が行政区活動に参加しやすいような状況を作ってあげるほうが、行政区活動への女性の参加が少ないという課

採点		題解決につながるのではないですか。子供を預けて会議に参加しやすくするなどの環境づくりが先ではないかと考えますがどうですか。
	カリヨンベルズ	ワークショップの際には、託児などできるようにしていきたいと 思います。
	山田委員	事業の将来性についてお聞きしたいです。申請書などを見ると補助金交付を受けられる三年間で終わってしまうような事業計画に見受けられました。補助金の趣旨からしますと、その先を見据えて事業を計画していただきたいと考えます。将来的にどのように事業を展開しようと考えていますか。
	カリヨンベルズ	このワークショップを通して、どなたかが自発的に行政区の活動を行っていききたいと考える場合には、そのバックアップを行っていき きたいと考えています。 SDGsのワークショップを続けたほうが良いという場合にはスポンサーを見つける、会員数を増やして会費で賄うようにするなど三年の間に準備をしていききたいと考えています。
	野々山委員	数値目標などはありますか。
	カリヨンベルズ	ワークショップの参加者は初年度 20 人を目標としています。
	山口主任主査	それでは、カリヨンベルズのプレゼン及び質疑応答を終わらせて いただきます。 団体におかれましては退場をお願いします。ありがとうございました。
		【カリヨンベルズ 退場】 【委員採点】
		それでは続きまして、チャレンジクラブより提案事業のプレゼン テーションを行います。よろしくお願いします。
		【チャレンジクラブプレゼンテーション】 3名
プレゼン テーション	山口主任主査	ありがとうございました。ただ今のプレゼンに対しまして、ご質問等ございましたら、お願いいたします。
	加藤会長	発足後実施した今までの講座の参加者は何名ですか。
	チャレンジクラブ	月によって増減はありますが、毎回三十名程度参加しています。
	三島委員	子どもの居場所づくりという課題解決にあたって、地域の中でこ

		の活動を一緒にやっという大人を見つけていく必要があると思います。先ほど回覧で案内するとおっしゃっていましたが、それだけで人が集まるのか心配だと思います。その点についてはどうですか。
	チャレンジクラブ	保護者の中に、協力してもいいという方がいるので、まず保護者に協力者を募っていかうと思っています。地域の方については、まずこの活動を知ってもらうことからだと考え、回覧をお願いしています。
	三島委員	保護者の中には三好上区の方はいらっしゃいますか。
	チャレンジクラブ	はい。現在8名ほど三好上区の参加者がおり、保護者の方に協力のお願いをしている状況です。何名かの保護者の方には、お手伝いしていただけるという返事をいただいています。
	三島委員	補助金を使って課題解決をしていくわけですが、どのように地域の人材を発掘していかうと考えていますか。
	チャレンジクラブ	地域の方についてはまだどのような知識や技術を持っている方がいるかまだ把握しておりません。
	佐宗委員	三好上地区には石川家住宅があります。あちらでもものづくりを行っていますので、協働事業を考えるなどすると参加者を集めるのにいいのではないのでしょうか。現状あちらとの交流はありますか。
	チャレンジクラブ	現在交流などはありませんが、そういったこともできるよう進めていきたいと考えています。
	松波委員	参加している子どもの年齢の幅が広いようですが、全員同じものを作っているのですか。
	チャレンジクラブ	それぞれの年代、能力に合わせて行うようにしています。
	加藤会長	がんばる地域を応援するというのがこの補助金の趣旨です。どう地域へ還元していくのかという部分について、地域との関わりをもう少し重視していかなければならないと思います。団体の活動のみに補助金を充てているのではないかと思われてしまう部分が現状ではあると思います。 集まって講座をただ実施するだけではなく、三年間ありますので、将来的にどう地域へ還元していくのかビジョンを持つことが重要だと思います。そのあたりについてはどうお考えですか。
	チャレンジクラブ	今後事業の展望については、まず一年目事業を実施していくにあたって、どのような地域の希望があるのか、子どもたちを見守っていくということに対してどれくらいの地域の協力が得られるのか、聞き取りしてから決めていきたいと考えています。

採点 集計 採決	加藤会長	「地域の子どもたちを見守る」という趣旨はこの事業のどの部分でそれを表現していますか。講座の振り返りのアンケートなどを拝見すると、活動の充実を図るような内容であり「子どもたちを見守っていききたい」といった内容が見受けられないように感じられます。設問の項目に地域の要望や保護者への協力を仰ぐ内容を入れていくなど、なにか働きかけをしなければ、参加者に事業の趣旨を理解してもらうことは難しいのではないのでしょうか。補助金を使い、がんばる地域に還元していくためにはそのあたりをしっかりとやる必要があると感じます。
	佐宗委員	三好上地区には元トヨタ自動車の社員の方など、知識や技術を持った方がたくさんいらっしゃると思いますので、老人会などに聞いてみるなど協力者を仰いでみてはいかがでしょうか。
	チャレンジクラブ	今後地域と連携し頑張っていきたいと思います。
	山口主任主査	それでは、質問もないようですので、チャレンジクラブのプレゼン及び質疑応答を終わります。ありがとうございました。
		【チャレンジクラブ 退場】
		【委員採点】
		【採点集計】
	山口主任主査	それでは、ここからの取り回しは、「がんばる地域応援補助事業審査会運営要綱」第6条第1項の規定により会長にお願いしたいと思います。
	加藤会長	採点どうもありがとうございました。では総合判定について事務局のほうから説明をお願いします。
	山口主任主査	総合判定の結果を見ますと、1位がチャレンジクラブ、2位がカリヨンベルズとなりました。 なお、審査項目において両団体とも1点が付けられております。カリヨンベルズについては、地域課題の妥当性、公益性、実効性、将来性の4項目に1点が付けられております。チャレンジクラブについては将来性の項目に1点が付けられております。では決定前に協議をお願いいたします。
	加藤会長	ではまず、1位のチャレンジクラブについて協議をお願いします。
		【チャレンジクラブ 協議】 【チャレンジクラブ 結果】 採択としますが、地域へどう還元していくかという将来へのビジョンをもって事業を実施していただくことを条件とします。

	加藤会長	次に、カリヨンベルズについて協議をお願いします。
		【カリヨンベルズ 協議】
		【カリヨンベルズ 結果】 行政区活動に参加する女性が少ないという地域課題と、SDGsをツールとした啓発事業との整合性が不明確であるため不採択とします。
閉会	山口主任主査	委員の皆さまに協議いただきました結果を踏まえ、チャレンジクラブを採択、カリヨンベルズを不採択とし、審査会を終了いたします。 以上をもちまして、令和元年度みよし市がんばる地域応援補助事業審査会を終了いたします。 ありがとうございました。 (散会)